

「人それぞれの収穫とともに」

さらなる実りを目指して」

萩山実務学校自立支援課長 田中誠人

暑く長かった夏が終わり、秋らしい季節をほとんど感じないまま、黄色いイチヨウの葉が地面を覆いつくし、寒い冬が本格的に到来する気配が高まってきました。

今年も恒例の「収穫祭」が十二月五日に行われました。収穫祭は、子供が寮を代表して「僕の・私の 収穫」と題した作文を、他の子供たち、寮や分校の職員の前で発表することから始まります。その後、農場で大切に育てた、大根や白菜、さつまいも、餅つきをして食べごろになったお餅を、青空の下、グラウンドで一緒に食べました。

今回の作文で、子供たちは、「うまくいかないことを人のせいにしていたら、自分とはかわらない」、「自分の気持ちと怖がらずに向き合えるようになった」、「白と黒の間にグレーがある」とわかった」、「素直さが生きやすさだと気づいた」、

「強がらず自分を表現できるようになった」、「今の努力が未来のためになると思った」、「優しさを自分の強みとして表現できる自分に出会えた」、「個性的な他者の存在が自分を成長させてくれた」など、萩山に来てからの自分の変化について、素直に表現してくれました。発表してくれた子供たちの心からの率直な言葉を受け止め、共感し、農作物に感謝を込めながら一緒に食すことで、これまでの生活の振り返りを全員で共有するとても大事な時間となりました。

萩山に入所して来る子供は、自分自身のマイナスイメージがコントロールできないことや、他人との距離感がわからないことから周囲の人から理解されずに「自分勝手」、「やる気がない」などと思われ、問題行動を起こして学校にも行けなくなったケースが多いです。不安な気持ちの表現方法がわからず、イライラの原因探しや紛らわしが言動に現れてしまう経験が積み重なり、生きづらさやトラウマを抱えながらここに辿り着いたので

萩山で最も力を入れているのが、子供

への対話型支援です。不安な気持ちと言葉や行動に現れた時、他人とトラブルになりそうな時、困り感を覚えた時などは、丁寧とその場面の振り返りをしながら、どのように感じたのかを一緒に考えます。この時、職員は子供の行動化をトラウマから来る防衛反応という視点で捉え、過去のダメージの修復や自己理解に効果的な支援が図られるよう意識しています。こうすると褒めてもらえる、こんな良いことが起こるなど、脳内のネガティブな経験をポジティブな出来事に書き替えることで、子供の自己肯定感や心理的安全性を高め、安心した生活につなげていきます。

また、子供の権利擁護にも積極的に取り組んでいます。「こどもの権利ノート」を使って、全員が持っている、「人として尊重され、大切にされる権利」、「自由に考え、自由に信じる権利」、「将来にむけていろいろな準備をする権利」等の権利についてわかりやすく説明します。更に、子供が自らの成長課題と向き合い、当事者意識を高められるよう、家族との関係再構築や、将来の夢や行きたい高校、

退所後の生活などについて、意見を伝えるのが苦手な場合は代弁しながら、丁寧に子供自身の言葉にしていきます。他にも、第三者委員によるヒアリングや意見箱の面接を活用して寮職員以外の大人に相談することで自分軸を意識できたり、子供会議を通じ個々の興味関心や苦手・不得意なことを理解することで他者視点や多様性の尊重について学ぶ機会にするなど、将来を見据えた支援を行っています。

年度末に向け、萩山から巣立っていく子供たちの進路や生活場所が決まっていきます。しかし、社会的な自立に至るまでの思春期や青年期において、家族関係の悪化、学校や地域での居場所の喪失等が生じた際、困難な状況に陥ってしまうことも想定されます。萩山では、子供たちが「育ち直し」を行なった場所としての強みを活かして、必要な社会資源の整理や関係機関とのネットワークづくりを行うなど、誰一人取り残されることがないよう、それぞれに寄り添ったアフターケアを継続的に行っていききたいと思っています。

運動会

九月二十一日に萩山実務学校のグラウンドで運動会が行われました。晴れの空の下、保護者をはじめ多くの方々が見守る中、子供たちは元気な姿を見せてくれました。

「運動会を通して」

五寮 Tさん

僕が運動会を通して思ったことは三つあります。

一つ目は、僕たちが練習していたことが成功したことです。僕はとてもうれしかったし、練習していた良かったと思います。

二つ目は、仲間が失敗しても良い声かけをしていたことです。本当に運動会をやった良かったと思いました。

三つ目は、あまり得意ではないことにも、しっかりと取り組んでいたのが良かったと思いました。

最後に、僕はどんなに苦手だったにしても「諦めたりしないで、しっかりと向き合っていたらいいな」と思いました。



「運動会を終えて」

さくら寮 Iさん

私は、中学校で運動会をするのは初めてでした。だから、どんな感じなのかは分からなかったし、正直「つまらないだろうな」と思いました。でも、運動会でダンスをすると聞いて、私は少し運動会が楽しみになりました。

ただ、運動会オリエンテーションで動画を見た時「先生たちみたいに上手にできるかな」と少し不安に思いました。また、寮でのメドレーリレー練習も一回しかしてなかったのに、本番直前までずっと不安でした。

本番当日、すごく緊張しました。初めてだし、家族とかにも見られているからでした。でも、「恥ずかしがつて前に立ったら、逆に目立っちゃう」と思ったので、私なりに全力でやってみました。そうしたら、やる気が出てきて、一つひとつのことが「楽しいな」って感じました。

また、不安だったメドレーリレーも一番遅かったけど、一回しか練習してないのに、寮のみんなと協力してできたのは、すごくうれしかったです。

その他にも応援合戦では、順番が最初だったけど、ノリノリにやったら、楽しかったです。また、女子のダンスは、練習した通りに全力でやったので、悔いなくできました。振り返ってみると、私は何でもやる前から「つまらない」とか「やりたくない」と言ってしまう、不安を感じることも多かったんです。でも、やってみると「楽しいことは意外と色々な所にあるのだな」と思いました。

運動会で、寮のみんなと協力できたので、これからの生活でも協力していきたいです。萩山での行事はまだあるけど、楽しい気持ちで参加できたらいなと思いました。



「運動会を終えて」

六寮 Tさん

僕は、萩山の運動会をやってみて思ったことが四つあります。

一つ目は、バトンリレーを行う種目がなかったことです。どの運動会

にもあると思っていたのがなくて、少しがっかりしました。

二つ目は、練習時間がかなり少なかったですが、上手に出来たことです。本番で間違える事もあまりなく、気持ち良く終えることができました。

三つ目は、各寮の応援合戦が、思った以上に面白かったです。演技時間は短くても、みんな面白いものを考えていて、びつくりしました。

四つ目は、カツカレーが、とてもおいしかったことです。寮のみんなや親と一緒に食べました。あまりにもおいしくて、二回もお替りしました。

運動会が終わってとても疲れたけど、その分、楽しくできて良かったんです。



秋の全校遠足

十月八日に全校遠足で国営武蔵丘陵森林公園へ行きました。



「秋の遠足の思い出」

一寮 Tさん

私たちは十月八日に遠足に行きました。

今回の遠足で私がたてた目標は、マナーやルールを守り、自然に親しむことでした。当日は、とても天候に恵まれ、いろいろな場所を見たり歩いたりすることができました。そのことについて書きたいと思います。

出発式の時「ルールなどを守り楽しんでこよう」と思い、寮の先生たちに見送られながら出発しました。

到着して私たちは森林公園の方にあいさつをして中に入りました。森林公園は本当に自然が豊かで木がとても多く、まさに「森林」という感じでした。虫やぐもの巣、花に植物、鳥などの他にも、沼やトンネル、色々なものを間近に見ることができて、とてもよい経験になりました。また、

秋の七草もあり「こんなものがあるのか」と思ったのを覚えています。

昼食場所では、開けた場所で景色を見ながら、とてもおいしい萩山特製弁当を食べました。中身は、からあげ、エビフライにシュウマイ、そして冷めても固くならない鮭などがあり、とても豪華でした。

寮に帰った後で今日一日を振り返ってみました。

「去年、見られなかった、たくさんの景色を見ることができたこと」

「この自然に親しむ心を持てたこと」

「きのこを見つけようとする集中力が持てたこと」

それらの「経験」、「心」、「力」を生かして、これからも頑張ろうと思いました。



「秋の遠足」

二寮 Kさん

中学三年生。中学校での遠足は、今回で最後になりました。去年は雨が降っていて、良い景色をあまり見ることはありませんでした。しかし、今年はとても晴れていて、生き物や植物を、たくさん見ることができました。

最後の遠足ということで、とても長く感じ、多くの植物などを見られました。

初めは旬の栗です。茶色でとてもよく育っていることがわかりました。次にキノコです。アカマツの下にはマツタケが生えていました。そして秋の七草もありました。ススキにクズ、ハギなどを見ることができました。

昼食では、冷めても固くならないシヤケを食べました。食べ終えた後は、ボールやフライングディスクで遊び、とても楽しい思い出を作れました。また、帰りは達成感がすごく出しました。

このことから、何かを達成したときが一番気持ちよく、そして「がんばったという気持ちも持つことができる」と知りました。

「秋の遠足の振り返り」

三寮 Mさん

私は十月八日水曜日に国営武蔵丘陵森林公園に行きました。そこで印象に残ったこと、学んだことが三つあります。

一つ目は森林公園の大きさです。事前指導の時に知ったことですが、萩山は東京ドーム二個分ですが、その三十二倍だそうです。今回は、そのほんの一部しか歩いてないので、もし機会があれば、他の場所にも行ってみたいと思いました。

二つ目は大自然に囲まれて食べる萩山特製弁当のおいしさです。春の遠足では、自分たちで火をつけて、調理をして食べたバーベキューでした。



しかし、今回の弁当は調理棟の人たちに作っていただきました。手作り弁当だったので、また一味ちがうおいしさでした。ただ、食べている途中にスズメバチが飛んで来て、とても驚きました。でも、そのことも含めて、とてもいい思い出になりました。

三つ目は自然を楽しむ良さを、楽しさです。今回の秋の遠足を通して、山道を歩いている中で、キンモクセイの匂いや花、キノコ、虫などいろいろな動物、植物を見かけました。都市化が進む今の世の中で、今も残っている自然の良さ、美しくさ、それを楽しんでいく楽しさなどを実感しました。

そして、この自然の良さを守り、今後の生活に生かして「あとの世代などにも繋いでいきたい」と改めて思いました。



第一回 鑑賞教室

九月七日に、歌手の方を招いての鑑賞教室が行われました。



二寮 Iさん

人前で大きな声で、はっきりと上手に歌をうたえることが、かっこよくて、とても良かったです。

今回、五回目のデビューとおっしゃっていました。自分には、できるとは思えません。多分できたとしても二回目までだと思います。それ以上になれば、歌が嫌いになつてしまうかもしれません。

しかも、ケガを負ってしまったので、諦めず活動が続けるところが一番すごいいと思います。諦めない事が何事にも、特に夢をかなえるためには、必要なのだということが伝わりました。

色々な曲を歌っていただきましたが、一番印象に残っているのが「君は愛されるために生まれた」です。

歌手の方のおっしゃったとおり、メロディーや歌詞はシンプルなのに、とても心に残った曲で「外国の音楽で好きな曲だな」と思いました。

(備考)

「君は愛されるために生まれた」は、韓国人の牧師が作詞作曲したワッシュプソング（現代的な礼拝音楽）です。



けやき寮 Mさん

正直、あまり知らない歌などもありました。ただ、歌詞はすごく良く、リズムにも乗りやすかったのです。聞いていて気持ちが良かったです。

「200倍の夢」は何となくですが、聞いた事がありました。「アイノカタチ」と「翼をください」は知っていました。とにかく、すべての曲で歌声がとても良かったです。知っていた歌は、少なかったですけど、

ずっと聞いていました。また、知っていた歌も、オリジナルとはまた違う趣があり、それもまた良かったなと思います。

ただ、「君は愛されるために生まれた」は、あまり知りませんでした。

でも、メロディーはとてもシンプルで覚えやすかったです。歌詞の内容も分かりやすく、すごくいい歌だなと思いました。その他にも「道化師のソネット」という実話を元にしたという映画の歌も気になりました。

お話を聞いて、自分も夢中になって追いかけられる夢を見つけて、諦めずに頑張ってみようと思いました。

五寮 Mさん

今回の鑑賞教室に来ていただいた歌手の方のおかげで、いろいろな曲を知れてよかったです。

僕は「アイノカタチ」と「翼をください」という曲しか知りませんでした。でも、どの曲も、そして曲を知らない人が聴いても、感動する歌声でした。

僕は歌ってくれた曲の中で、もう一度聴きたい曲がありました。それは「君は愛されるために生まれた」

です。このような心のこもった歌詞が、とても好きでした。これからも機会があったら様々な曲を聴きたいと思いました。



第二回 鑑賞教室

九月十四日に、マジシャンの方を招いての鑑賞教室が行われました。

三寮 Uさん

僕は「マジックをしてみたい」という気持ちはあるけど、「やる機会がないから」と思っていました。

でも、その日は違いました。いつもマジックをすることはないけど、寮に帰って一人で練習をしていました。そして「マジックって楽しいな」と思いました。

マジシャンの方は、試行錯誤してマジックを作りショーをしている。すごいし、カッコいいです。僕も興味のあることを試行錯誤し、あまり

興味が持てない事も、試行錯誤してみようと思いました。

それにマジシャンの方は、ただマジックをするのではなくて、それを客に見せている。見ている僕にも「そこまでマジックが好き」ということが伝わってきます。

マジックを見ていると観客も笑えるし、それを見たマジシャンも、笑顔になる。僕はこのマジックショーを見て「それがマジックショーの一番の良い所だ」と感じました。

あと、お話しの中で言っていた「空気を読む」。すごく良い内容だと思いました。今、受験生の僕にすごく大事な言葉だし、大人になっても、使う大事な言葉です。

僕もマジシャンの方みたいに仕事で人を笑わせられるような、そんな立派な職業についてみたいと思いました。



五寮 Oさん

ぼくは、今日初めてマジックショーを見ました。見ていてとても面白かったし、マジックに興味を持ちました。

「すごい！」と思ったマジックは三つあります。

スケッチブックに描いたボウリングの球が、本物の球として出てくるマジック。

手の中からお札が現れるマジック。

ジャスミンティー入りペットボトル中にトランプが入るマジックです。

その他にもすごいと思った事は、マジシャンの方の話です。聞いていて、トークの力もすごいなと思いました。面白い話しや素敵な話を聞かせていただき、ありがとうございました。

マジシャンの方のように、人からほめられたり、尊敬されたり、好かれたりする人になれるよう頑張ります。

三学園対抗野球大会

四寮 Mさん

十一月十五日に、誠明学園で三学園対抗野球大会が行われました。去年は萩山で開催しましたが、今年は工事のため誠明学園で行いました。

出場したチームは、萩山の他に誠明学園と埼玉学園でした。その中で萩山は優勝することができました。

風邪など様々な事情で萩山のチームは、いつもの人数より少ない十人で試合に臨むこととなりました。

けれども、全員で協力しました。

試合に出られなかった人達のことを忘れずに戦いました。だから、優勝というすばらしい結果に繋がったと思います。

来年は、全員で大会に出場して、心残りのない試合にしたいです。

また、大会を支えてくれた先生方そして、グラウンドを貸してくれた誠明学園の方、ありがとうございました。



関東女子バレーボール大会

かしわ寮 Wさん

十月二十四日に群馬県で関東女子バレーボール大会が行われました。

試合が始まると、みんなで夢中になってボールを追いかけてました。自分や仲間がミスしても、明るく楽しく「どんまい」と言うことができました。もちろん、それはみんなも一緒でした。

また、ベンチにいる仲間や先生たちからの応援もコートに響きました。それらの声に後押しされ、チームの雰囲気はどんどん盛り上がっていききました。

私が、この大会で頑張ったことは三つありました。

「本気でプレーしたこと」

「みんなで協力したこと」

「返事と挨拶」です。

特に「返事と挨拶」は、試合の時だけでなく、それ以外の場面でも、しっかりと取り組めたと思います。

最後に大会を振り返ってみました。

「協力することの大切さ」

「気持ち向前向きに楽しく取り組んだこと」

「ミスがあっても相手を責めない」。このことがあったから、みんなで楽しくバレーボールをすることができたと思います。

このことをこの後の生活に生かしていきたいと思います。



関東少年文化祭

十一月十二日に神奈川県で関東少年文化祭が行われました

かしわ寮 Aさん

今回、私は初めて関東少年文化祭に参加しました。

まだ、ブラスバンド部での経験が少ない私は、全曲を吹けるわけではありませんでした。

大きな舞台に立った時も、最初は「間違えないか」と少し不安でした。でも、みんなと一緒に演奏できるうれしさもありました。

だから、あまり吹けるところのない私も、自分のできるところは「全力」で吹きました。そのおかげで、

舞台上で堂々と楽しく、演奏することができました。

また、演奏中のダンスは、みんなで作えました。自分たちで考えたダンスと演奏で音楽の楽しさを表現することができました。そして、観客から拍手をもらえたことがうれしかったです。

来年もまた楽しく、そして自信を持って演奏したいです。



収穫祭

十二月五日に収穫祭が行われました。そこでは各寮の代表が、「僕の・私の収穫」と題した作文を発表しました。

僕の収穫

六寮 Tさん

萩山に來た頃は、いつも不安を抱えていました。「白か黒か」「ゼロか一〇〇か」としか考えられず、完璧を目指してやってみるけど、うまくいかない、この世の終わりのかというくらい、落ち込んでいました。

そんな不安で一杯だった僕に、先輩たちは優しく接してくれて、先生方も話をきいてくれて、いつしか、安心感をもって生活することができるようになりました。

負のループにはまることはあっても、以前のように、いつまでも自分を責め続けることは減りました。

やることが決まっていて、それをやることで安心できる萩山の生活は、僕にとって、自分というものを「整えられる環境」だと思っています。その環境をつかって、自信を無くす

ばかりではなく、チャレンジできる
ようになったことが、うれしいです。

自信を無くしたり、くじける自分
も「自分なんだ」と思えるようにな
ったこと。

以前に比べたら、白と黒の間にグ
レーがあると思えるようになったこ
と。

それが僕の収穫です。



私の収穫

かしわ寮 Sさん

「私、失敗しないんで」

「私はなんでもできて、完璧だし、
大人だから」

そう思っていました。

実際は失敗することがありました。
できないこともありました。

でも「できる子でいなければいけ
ない」、そう思っていたので、自分の
失敗は認められませんでした。

気がつけば、そんな自分にイライ
ラする日々。息苦しい毎日でした。

萩山に来て三ヶ月が経った頃、勇
気を出して先生に相談してみました。
いろいろな先生に、何度も相談しま
した。

そして、私は自分の心の中にある
「怯え（おびえ）」に気づきました。
良い子でいなければ居場所がなく
なる。

居場所を失わないように良い子を
演じていた。演じようとしていた。

誰かが求める自分でいなければ、
評価されなければ、私はこの世から
いなくなる。

いつもそんなことに「怯えて」い
たんだと。

萩山の生活で「大人ぶる必要なん
てない」。「子供でいいんだ」。そう思
えるようになったら、すごく気が楽
になりました。私にとって大きな気
づきでした。

失敗する自分も自分なんだと、受
け入れられるようになったこと。

そして、そんな自分が前よりも好
きになったこと。

「私、失敗するんで」と強がらない
自分を素直に表現できるようになっ
たこと。

それが、私の収穫です。



編集後記

今年も終わりに近づいてきました。
萩山の子供たちも様々な行事や生活
の中で、今年を振り返る様子が見ら
れます。

楽しかったこと、うまくいかなか
ったことを振り返りさらなる成長が
楽しみです。

今年ものこりわずかですが、子供
が見せる成長を見守ると同時に、大
人も一緒に成長を感じていきたいで
す。

来年もどうぞよろしくお願いいた
します。

編集長

自立支援課長

文書管理

課長代理（庶務担当）

事務局

統括課長代理（福祉調整担当）

